

TOPICS

各地で秋祭りを開催



下青江神社秋季大祭

山月になり、各地で秋祭りが行われ、様々な御神樂や獅子舞を見ることができました。
昔、太鼓叩きをしていた子どもが、大人になって天狗や獅子を演じるなど、親から子へ世代が変わると共に、伝統は確実に受け継がれていることを感じさせられました。



堅浦霜月祭り



菅神社秋祭り



徳浦神社秋祭り

「まちづくりツクミツクリタイ」発足

「津久見が好き、津久見を何とかしよう」という気持ちを持つメンバーが集まり、まちづくり組織を設立しました。会員を随時募集しています。



巨匠の秀作を間近に

11月21日、第一中学校体育館にて、津久見出身の南壽敏夫画伯をはじめ、福田平八郎画伯、高山辰雄画伯など、大分を代表する作家の作品や、ミレー、ピカソの作品など33点が展示され、1日限りのスクールミュージアムが開催されました。
協力してくれたガイドスタッフさんより、離れて見たり、座って下から見たり、時には一部を隠して鑑賞するなど、色んな美術の楽しみ方を教えてもらいました。
また、スクールミュージアムは一般公開もされました。数々の秀作を目の前に、生徒たちの芸術心は、揺さぶられたのではないのでしょうか。



TOPICS

OBS私の作文コンクール 金賞受賞 向井健翔くん



青江小学校3年生の向井健翔くんが、「OBS私の作文コンクール」応募総数2033点の中で、最高賞の金賞を受賞し、その報告に訪れてくれました。向井くんは昨年も銅賞を受賞しており、2年連続の受賞となります。

みんなで力を合わせて 子どもたちから義援金



8月に開催された「子ども市議会」において、熊本地震被災者に義援金を贈ることを決議しました。みんなで募金活動やアルミ缶回収に汗を流し集めた義援金を、代表して千怒小の吉田珠緒さんと、田島莉緒さんが持ってきてくれました。

九州代表として台湾へ 挟間大暉選手



12月に台湾で行われる、日本と台湾の32チームが競う硬式野球大会に出場する九州代表チームに、大分南リトルシニア所属の挟間大暉選手(一中2年)が、選考されました。「全試合に出場し、チームに貢献したい」と決意表明がありました。

いよいよスタート 津久見市庁舎建設専門家検討委員会



11月22日、第1回「津久見市庁舎建設専門家検討委員会」が開催されました。委員会は、都市計画や防災など各分野の専門家6名の方で構成されており、新庁舎建設について、具体的な検討を進めていきます。

書道パフォーマンスと共演 津久見榎の実少女少女合唱団



県立美術館前の国道を歩行者天国にし、2年後に開催される国民文化祭のキックオフイベントがあり、津久見榎の実少女少女合唱団も出演しました。イベントでは、大分高校の書道パフォーマンスとコラボする企画も披露されました。

還暦の記念に母校へ感謝の気持ちを 第二中学校 昭和46年度卒業生一同



昭和46年度卒業生一同より、母校の第二中学校へ冷温水器を寄贈していただきました。還暦記念の同窓会を行った際に、母校へ感謝の気持ちをあらわそうという話になり、後輩たちに喜んでもらえる冷温水器を贈ることになったそうです。

リスクのある限り備えは必要 災害支援協定 調印式



津久見市と日本下水道事業団様との災害支援協定の調印式が行われました。この協定は、汚水を処理する津久見終末処理場が万一の災害で被災した場合に、迅速な災害復旧支援を受け、早期復旧を図るために結ばれた協定です。

できる限りの支援を 愛媛県原子力防災訓練



愛媛県で原子力防災訓練が実施され、万一を想定し、色んな可能性を試しておくということで、愛媛県住民の避難先の一つとして、船で大分県に避難するルートの実験も行われました。今回は、受入港として、佐賀関港と津久見港で実施されました。

認知症に対する理解を 認知症サポーター養成講座



戸高育英会館にて、(株)戸高鋳業社社員およそ130名が参加し「認知症サポーター養成講座」が開催されました。今まで小学校や高校、いきいきサロンなどで行われてきましたが、100名を超える大規模な講座は初めてとなります。

※市ホームページ内「取材日誌」、市公式フェイスブックにて、掲載出来なかった写真や記事をご覧ください。